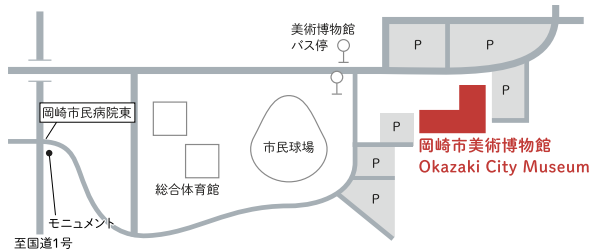


館案内 / INFORMATION

- 開館時間** 10:00～17:00 ※最終の入場は閉館の30分前
- 休館日** 月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合はその翌平日が休館)・年末年始
※展示替え中は臨時休館します
- 観覧料** 展覧会により異なります
※岡崎市在中・在学の小中学生は無料(証明できるものを提示)
※各種障がい者手帳の交付を受けている方及びその介助者
1名は無料
- 交通案内** バス：名鉄「東岡崎駅」のりば②番「中央総合公園」行き乗車
「美術博物館」下車徒歩5分
お車：東名高速「岡崎インター」から約10分



岡崎市美術博物館

〒444-0002
愛知県岡崎市高隆寺町峠1
岡崎中央総合公園内
TEL.0564-28-5000
FAX.0564-28-5005
<https://www.city.okazaki.jp/museum>



岡崎乾二郎(上)時を計って梯子を登る。山があり下がある。その中間の点へ。目を近づけるとなるほど「正しきを知れ」と、堅い岩石たうと草木が新芽をふくむには驚かされる。崖もがそれに触れるのを恐れ、遠ざかった。ハライソ、ハライソ、サンタリが生える力の恐ろしさ。谷を持たぬ山を思惟しないが、如く、いま見る満山の緑はみな生の力。(下)下界へ下る人もこの地点はきっと通ります。音塵も遊びに来るし、外道はここに迷途を作る。「わがまますか」と誰かが崖の中腹を指す。あお雲隙から湧き水が流れている。アへ、マリア!こんな次第を下から見守ると首が痛くなるよ。強い日射しのせいで目も痛くなった。天地が空と水は与えてくれます。だから人の骨折りならもういい。(部分)2007年
岡崎市美術博物館蔵

OKAZAKI CITY MUSEUM

EXHIBITION SCHEDULE

2024

岡崎市美術博物館
展覧会スケジュール





4/13
▼
6/16
ひらいて、
むすんで

ベルリン在住の美術家である手塚愛子は絵画の探求から織物に着目し、その糸を解体することで織られた時間を辿りながら、文化や社会制度の歴史と構造に目を向けます。それは織物を「ひらく」ことで再構成し、過去の出来事と現在を織りなおして新たな回路に「つなぐ」ことを感覚的に行うものです。本展は「ひらく」「むすぶ」という視点から絵画や彫刻、映像やインスタレーションなど美術作品を紹介するものです。私たちが自分を語る時、自分の全てを語るのではなく、選択や省略、誇張や変形といった編集作業を加えます。それは語ることで自分を「ひらき」ながら、同時に自分の断片を「むすぶ」表現であると言えるでしょう。作品の声を聞き、自分の心を語る機会となれば幸いです。



手塚愛子 (Fragile Surface - 2019-005) 2019年 作家蔵

7/13
▼
9/23

QuizKnock と巡る 江戸東京博物館展

江戸東京博物館は、江戸東京の歴史と文化を振り返り、未来の都市と生活を考える場として平成5年(1993)に開館しました。現在はリニューアルにむけて工事休館中です。

本展では、江戸東京博物館の常設展示「江戸ゾーン」からセレクトされた歴史資料・体験模型・再現模型によって、大都市・江戸を紹介します。江戸の成り立ちや人々の暮らし、娯楽や文化などを目で見て、いくつかを実際に体験することで、よりリアルに江戸を感じることができます。また、知識集団QuizKnock(クイズノック)とコラボし、QuizKnock目線で江戸時代を深掘りしていきます。江戸時代にタイムスリップしたかのような体験をお楽しみください。



再現模型「寿司屋台」/ 東京都江戸東京博物館



体験模型「大名駕籠」/ 東京都江戸東京博物館

改修工事のため休館 2024年9月24日~2026年6月末(予定)

当館について

自然豊かな岡崎中央総合公園の一角に位置する当館は、1996年7月6日に開館しました。以来、地域の歴史を伝える資料を収集、保管、調査、研究するとともに、美術、歴史、工芸など、多様なテーマによる展示活動を行っています。

栗生明氏の設計による当館の建築は、屋上から立ち上がるエントランスのアトリウムを特徴とし、透過性の高いガラスにより自然環境との一体化を目指しています。



当館からのお願い



展示作品にはお手を触れないようお願いいたします



展示室内での写真撮影はご遠慮ください



作品保護のため、展示室内では鉛筆以外の筆記用具の使用はご遠慮ください



展示室内では携帯電話、スマートフォンはマナーモードにし、使用はご遠慮ください



都合により展覧会の内容、会期を変更する場合があります